



2022 年 10 月 12 日  
NTT コミュニケーションズ株式会社  
Wasabi Technologies Japan 合同会社  
ネットアップ合同会社

## NTT Com のストレージ最適化ソリューションが 国内最大規模・社員数約 10 万人の東芝グループ全社ファイルサーバーとして採用 ～約 1 PB の大量データ移行をトラブルなく完遂し、ストレージ関連費用を大幅削減～

NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）、Wasabi Technologies Japan 合同会社（以下 Wasabi）、ネットアップ合同会社（以下 ネットアップ）の 3 社は、NTT Com が提供するクラウドマネジメントソリューションである「ストレージ最適化ソリューション（Wasabi Tiering for NetApp）」（以下 本ソリューション）を、東芝インフォメーションシステムズ株式会社および東芝デジタルソリューションズ株式会社と連携し、東芝グループ社員約 10 万人が利用するファイルサーバーとして 2022 年 9 月より本格導入しました。本ソリューションの導入により、データ蓄積・活用におけるコスト最適化を実現し、東芝グループの DX 推進に貢献します。

### 1. 背景

近年、社会・産業のデジタル化が進み、さまざまな分野でのデータ利活用が本格化する一方で、増加するデータの蓄積・管理のためのストレージ関連コストが課題となっており、クラウド基盤を活用したストレージ階層化への注目が高まっています。

東芝グループでも、データ容量 1 PB（ペタバイト）※1 にもおよぶ国内最大規模のファイルサーバーを保有しており、増大を続けるストレージ関連コストが課題となっていました。

NTT Com は、企業がビジネスを推進する上で直面する DX 推進、働き方改革、セキュリティ、運用などの課題解決にむけ、5 つのソリューションモデル※2 を展開していますが、今回、Wasabi やネットアップと連携し、ソリューションモデルの 1 つである「クラウドマネジメントソリューション」を、お客様の DX に資する新たなデータ蓄積基盤（ファイルサーバ）として提供しました。

### 2. 本ソリューションの特長

#### (1) アクセス頻度に応じた自動ティアリング（階層化）によるストレージ関連コスト削減

アクセス頻度が高いホットデータはストレージ上に配置し、アクセス頻度が低いコールドデータは Wasabi の「Wasabi オブジェクトストレージ」※3 に配置する自動ティアリング（階層化）により、ストレージ関連コストが大きく削減できます。また、ダウンロード時のデータ転送料（通信費用）が発生しません。



(2) 大規模・大容量のファイルサーバーでもストレスなく利用可能

ネットアップのストレージと「Wasabi オブジェクトストレージ」は NTT Com のデータセンター構内で接続しており、オンプレミス並みのセキュアで低レイテンシーの接続環境でストレスなく利用可能です。

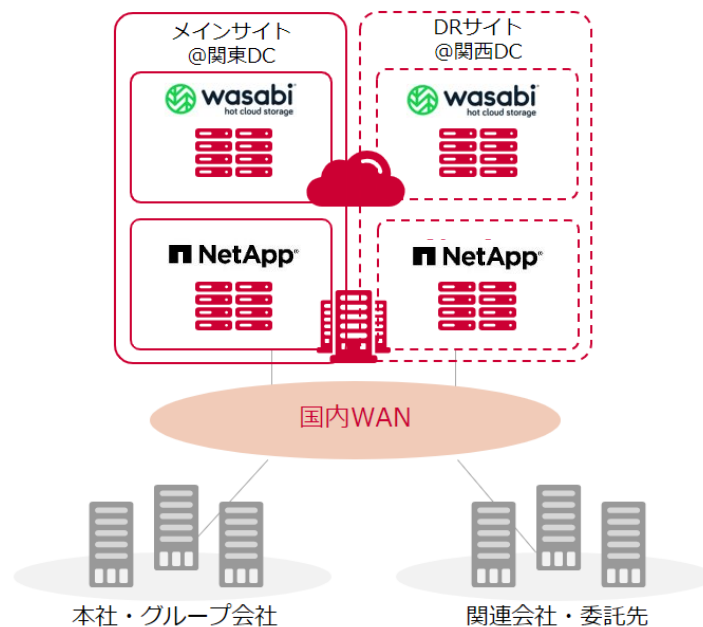
(3) BCP 対策のための拠点冗長構成も可能

ネットアップのストレージと「Wasabi オブジェクトストレージ」を NTT Com の関東、関西のデータセンターに分散配置することで BCP 対策の要望にも対応可能です。

(4) 構築から運用支援までの一元対応

自社サービスとして、データセンターやネットワークを所有するため、構築からデータ移行、運用支援まで一元的にサポートすることが可能です。

<構成イメージ図>





### 3. エンドースメント

東芝インフォメーションシステムズ株式会社 ITプラットフォーム推進部長 濁川 克宏 氏

「当グループでは、約 10 万人規模で利用するファイルサーバーのデータ管理コストの肥大化と大容量データの移行が課題であり、本ソリューションを導入することで課題解決できると判断いたしました。実際に NTT Com は、導入からデータ移行、運用支援まで一気通貫で対応してくれましたが、データセンターからネットワークサービスまで一元的に提供する NTT Com だからこそできたことだと思っています。懸念材料だったセキュリティに関しても、ネットアップのストレージと「Wasabi オブジェクトストレージ」は NTT Com のデータセンター構内で接続しており、オンプレミス並みのセキュアな環境に満足しております」

結果、データ管理コストも最適化（約 30%コスト削減）されました。これにより当グループの DX がさらに加速することが期待できます。今後も NTT Com と Wasabi、ネットアップによるさらなる革新的なストレージソリューションが提供されることを期待しています。

### 4. 今後の展開

各社は本ソリューションの提供に加え、東芝デジタルソリューションズのサービス・ソリューション※4 との連携を強化することにより、ソリューションの幅をさらに広げ、世の中の更なる DX 推進とデータ利活用の促進、肥大化するストレージ関連コストの最適化に努めます。また、昨今猛威をふるっているランサムウェアのセキュリティ対策に特化したさらなる機能拡充を行い、ソリューションを進化させていく予定です。

※1 ベタバイトはテラバイトの 1000 倍で、2 時間の映画約 20 万本分のデータ容量。

※2 5 つのソリューションモデルとは、NTT Com がお客さまのコンサルティングを手掛ける中で、多くのお客さまの共通的な課題となっていた「セキュリティ」「CX 向上」「働き方改革」「DX 推進」「システム運用」を解決するため、これまでに蓄積したノウハウやベストプラクティスを活用して組み上げモデル化したもので、「クラウドマネジメントソリューション」はこのうちの「DX 推進」を実現するモデルの一つ。

(参考) <https://www.ntt.com/business/lp/solmodel.html>

※3 「Wasabi オブジェクトストレージ」は、NTT Com のデータ利活用基盤「Smart Data Platform」のストレージメニューの 1 つ。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>

※4 東芝デジタルソリューションズのクラウド導入・運用支援サービス（Albacore™）

(参考) <https://www.global.toshiba/jp/products-solutions/ict-platform/albacore.html>



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>



## ネットアップについて

ネットアップはグローバルなクラウド戦略で業界をリードする、Data-Centricなソフトウェア企業です。デジタルトランスフォーメーションが加速する時代において、データを活用してビジネスをリードする企業や組織を支援します。クラウドでの開発、クラウドへの移行、オンプレミスでの独自のクラウドレベルの環境構築など、データセンターからクラウドまでのアプリケーションを最適な状態で実行できるシステム、ソフトウェア、クラウド サービスを提供しています。ネットアップは、多様な環境にわたって機能するソリューションを通じて、企業や組織が独自のデータファブリックを構築し、いつでもどこでも、必要なデータ、サービス、アプリケーションを適切なユーザに安全に提供できるようにしています。詳細については、[www.netapp.com/ja](http://www.netapp.com/ja) をご覧ください。ネットアップ合同会社はネットアップの日本法人です。

NetApp、NetApp のロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/> に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。